

# 職場紹介

## 企業支援部 普及調整グループ

林産試験場で行う研究課題の企画調整や評価，研究成果を企業等の皆さんに活用していただくための普及業務，特許や実用新案などの出願や使用手続き，各種メディアを利用した広報，場内見学やさまざまな技術相談の受付などを行っています。

### ■ 研究の企画調整から普及までのコーディネート

林産試験場では，技術ニーズ等の情報収集を行って，実用性の高い研究課題を発掘するとともに研究成果を必要としている企業等に届ける努力をしています。

道総研の予算で行う研究のほかに外部資金で行う研究があり，企業等と協力して行う共同研究や企業等からの受託研究，国や民間団体の公募型研究などを行っています。これらの研究についてニーズに基づいた各部横断的な企画調整や評価，他の試験機関，行政などとの総合的な調整や研究予算に関する各種事務を行っています。

共同研究，受託研究のご要望がありましたらお気軽にご相談ください。

また，当场に対する研究要望も随時ホームページで募集しています。

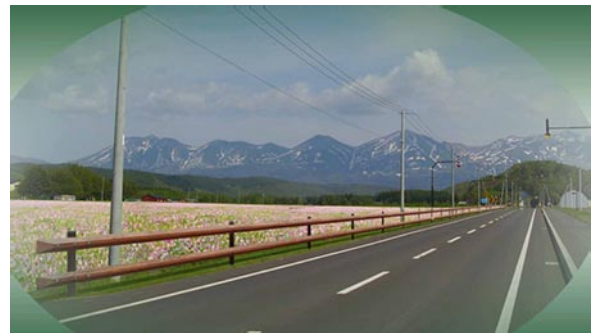
○共同研究によって開発した製品の例（ ）内は共同研究先



北海道型ペレットストーブ（株）サンポット



小断面わん曲集成材を使ったガレージ  
（株）日本ドアコーポレーション



耐雪型・B種木製防護柵ビスタガード  
（北海道産木材利用（協））

### ■ 地域に根ざした研究・普及のサイクルづくり

行政と連携して技術交流会の開催や企業等への巡回調査を実施することで，開発した技術や製品を各地域で普及すると同時に，その地域の企業などのニーズを把握し，研究業務に結びつけています。

### ■ 技術相談

電話や E メールなどによるお問い合わせのうち，簡単な内容については当グループで直接回答し，より高度な質問の場合は，専門の研究者がご相談に応じています。毎年 1,000 件程度のさまざまな相談が寄せられています。お気軽にご相談ください。なお，費用はかかりません。

企業等からの相談内容により、必要に応じて経営診断等も行っています。費用等についてはご相談ください。

### ■ 特許や実用新案等の知的財産の保護と活用

研究成果については、特許、意匠などの知的財産権として権利化を図っており、平成22年3月末現在、特許権18件、意匠権3件、品種登録3件を所有しています。林産試験場ホームページに「知的財産権等一覧」として紹介していますので、ぜひこちらをご覧ください。

現在、北海道型ペレットストーブが民間企業で製品化、市販されているほか、タモギタケのエルムマッシュ291等が栽培されて市場に出回っています。

### ■ 広報

林産試験場が持つ技術・研究成果を刊行物・web等を通じて幅広く伝えます。

#### (1) 刊行物

林産試験場の研究成果を発表する「林産試験場報」のほか、年度ごとの業務内容を「林産試験場年報」にまとめ発行しています。

また、テーマごとに取りまとめたマニュアル等の印刷物を発行し、重点的な研究成果の普及を行っています。

#### (2) インターネット

ホームページに、広報誌「林産試だより」を毎月掲載しているほか、開発製品の紹介、特集記事、イベント情報等の提供を随時行っています。各種刊行物やマニュアル等のダウンロードによる提供も行っており、

平成18年から提供している「木構造のためのスパン表」は好評で、ダウンロード件数が35万件を超えるロングセラーとなっています。

また、「林産試験場報」など過去に発行したすべての刊行物について、検索し全文閲覧できる刊行物データベースは4,000を超える論文を提供しています。



林産試験場ホームページ  
<http://www.fpri.hro.or.jp/>